

第 5 回	<p>【骨格系/神経系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格系/神経系の基礎知識 ・骨格系/神経系のフィジカルアセスメントの意義 ・骨格系/神経系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子]</p>
第 6 回	<p>【消化器系/感覚器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器系/感覚器系の基礎知識 ・消化器系/感覚器系のフィジカルアセスメントの意義 ・消化器系/感覚器系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子]</p>
第 7 回	<p>第 7 回と第 8 回は連続して行う</p> <p>【骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の問診・視診 ・関節可動域（ROM）測定 ・徒手筋力テスト（MMT） ・平衡機能、小脳機能検査 ・膝蓋腱反射 ・腹部の触診、聴診 ・瞳孔および対光反射 ・音叉による聴力検査（リンネ・ウェーバーテスト） ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の診査結果のアセスメント <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 8 回	<p>第 7 回と第 8 回は連続して行う</p> <p>【骨格系/神経系/消化器系/感覚器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の問診・視診 ・関節可動域（ROM）測定 ・徒手筋力テスト（MMT） ・平衡機能、小脳機能検査 ・膝蓋腱反射 ・腹部の触診、聴診 ・瞳孔および対光反射 ・音叉による聴力検査（リンネ・ウェーバーテスト） ・骨格系/神経系/消化器系/感覚器系の診査結果のアセスメント ・演習のまとめ <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 9 回	<p>第 9 回と第 10 回は連続して行う</p> <p>【呼吸器系/循環器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系の基礎知識 ・呼吸器系/循環器系のフィジカルアセスメントの意義 ・呼吸器系/循環器系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子、西田彩子]</p>

第 10 回	<p>第 9 回と第 10 回は連続して行う</p> <p>【呼吸器系/循環器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系の基礎知識 ・呼吸器系/循環器系のフィジカルアセスメントの意義 ・呼吸器系/循環器系のアセスメントの視点と方法 <p>[講義：長崎恵美子、西田彩子]</p>
第 11 回	<p>第 11 回と第 12 回は連続して行う</p> <p>【呼吸器系/循環器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系の問診・視診 ・肋骨・肋間の同定 ・呼吸音の聴診 ・全身の動脈触知 ・浮腫の観察 ・正常心音（Ⅰ・Ⅱ音）の聴診 ・シミュレーターによる異常呼吸音と過剰心音の聴診 ・呼吸器系/循環器系の診査結果のアセスメント <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 12 回	<p>第 11 回と第 12 回は連続して行う</p> <p>【呼吸器系/循環器系のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系/循環器系の問診・視診 ・肋骨・肋間の同定 ・呼吸音の聴診 ・全身の動脈触知 ・浮腫の観察 ・正常心音（Ⅰ・Ⅱ音）の聴診 ・シミュレーターによる異常呼吸音と過剰心音の聴診 ・呼吸器系/循環器系の診査結果のアセスメント ・演習のまとめ <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 13 回	<p>第 13 回と第 14 回は連続して行う。状況に応じて開始時間をずらす場合がある</p> <p>【ヘルスアセスメント演習実技試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識・技術を活用し、バイタルサイン測定の実施および記録を行う ・課題学習：看護師国家試験の出題や疑似問題等を通して、既習の知識の要点を整理する <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 14 回	<p>第 13 回と第 14 回は連続して行う。状況に応じて開始時間をずらす場合がある</p> <p>【ヘルスアセスメント演習実技試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識・技術を活用し、バイタルサイン測定の実施および記録を行う ・課題学習：看護師国家試験の出題や疑似問題等を通して、既習の知識の要点を整理する <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>

第 15 回	<p>【まとめ：知識・技術の整理】</p> <p>・ヘルスアセスメント演習で学んだ内容について整理する</p> <p>[講義：長崎恵美子]</p>
テキスト	<p>深井喜代子 編：新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 第6版 メヂカルフレンド社 2021 3,520 円</p> <p>宮脇美保子、深井喜代子 総監修：新体系看護学全書準拠 基礎看護学まとめノート 別冊解答付き（第1巻 看護学概論/臨床看護総論、第2巻 基礎看護技術Ⅰ、第3巻 基礎看護技術Ⅱ）第1版 メヂカルフレンド社 2022 4,000 円＋税</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>山内豊明 著：フィジカルアセスメントガイドブック―目と手と耳でここまでわかる 医学書院 2015</p> <p>竹尾恵子 監修：看護技術プラクティス【第4版 動画付き】 学研メディカル秀潤社 2019</p> <p>坂井建雄、岡田隆夫 著：系統看護学講座 専門基礎分野① 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院 2019</p> <p>茂野香おる、他 著：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕 基礎看護技術Ⅰ 第17版 医学書院 2019</p> <p>医療情報科学研究所 編：看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア 2019</p> <p>橋本忠幸 著：だけでいい！フィジカルアセスメント：外来でも病棟でもこの1冊 メディカ出版 2023</p> <p>藤崎郁 著：フィジカルアセスメント完全ガイド 第3版 学研メディカル秀潤社 2017</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>小テストは採点后、次回の講義で解説または提示する。</p> <p>課題レポートや講義に関する質問は、コメントをつけて返却、または、次回の講義内で伝える。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>「ヘルスアセスメント演習」の授業では、1 年次前期から看護を学ぶための基礎として学習してきた「看護形態機能学Ⅰ・Ⅱ」の知識が必要不可欠です。また、看護技術論演習で習得したコミュニケーションや感染予防に関する知識・技術を応用していきます。</p> <p>本授業では、看護の対象を観察するために必要なバイタルサイン測定技術や各系統別のフィジカルアセスメント技術の習得を目指します。そのためには、テキスト以外の参考図書や動画を活用し、予習・復習に加えて、確実な内容での自己練習の積み重ねが必須です。図書館でテキスト以外の提示された参考文献を調べて、理解の助けとして活用していきましょう。講義や演習時には、自分なりの理解の補足を資料に記入するなどの努力が、のちに実を結びます。</p> <p>看護実践者を目指す者として主体的に学習し、日々自己の知識技術を振り返り、本科目で学ぶ知識の定着化と基本技術の習熟に努力しましょう。</p>

